

平成28年第1回教育委員会会議議事録

1 開催日時

平成28年1月28日(木) 午後2時00分～午後2時23分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

	教育長	田村 修一
教育委員	教育長職務代理者	小尾 一彦
	委員	瀧本 洋次
	委員	早津 聡子
	委員	國安 環
事務局	教育部長	山岸 伸雄
	学校教育課長	川瀬 康彦
	生涯学習課長	湯佐 茂雄
	図書館長	林 隆則
	給食センター所長	妹尾 真
	総務係長	向井 克久
	学校教育係長	守屋 敦史
	学校教育推進員	吉村 泰之

4 議 事

報告第1号 平成27年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について

報告第2号 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

報告第3号 平成28年度全国学力・学習状況調査への参加について

報告第4号 幕別町中学生海外研修派遣事業研修生の決定について

報告第5号 幕別町高校生海外研修派遣事業研修生の決定について

5 議事概要 次のとおり

田村教育長 ただ今から、第1回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1、会期の決定についてお諮りいたします。

会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

田村教育長 異議なしと認め、会期は本日1日限りと決しました。

次に日程第2、会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に、1番瀧本委員、3番國安委員を指名いたします。

次に日程第3、前回会議の承認であります。第16回教育委員会会議について別紙議事録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

田村教育長 異議なしと認め、第16回教育委員会会議を承認いたします。

次に日程第4、事務報告についてお願いいたします。

教育部長(山岸 伸雄) ございません。

田村教育長 事務報告がないようですので、議件に入ります。

日程第5、報告第1号平成27年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について説明を求めます。

教育部長(山岸 伸雄) 報告第1号平成27年度幕別町一般会計補正予算の要求結果についてご説明させていただきます。

議案書の1ページをお開きください。今回の補正予算の要求につきましては、10款教育費の予算要求額は3千657万1千円を教育委員会として要求したところでございますが、69万3千円を減額し、3千587万8千円としたところであります。要求額に対し、減額となりました内容につきましては、5項社会教育費、3目保健体育費、修繕料要求額207万9千円に対し、60万円を減額し、147万9千円とするものでございますが、11節需用費の節内の執行残、特に燃料費の減等に伴う執行残でございますが、これが見込まれますことから、これら執行残の見込み分を財源とし、事業は実施する予定でございます。

次に、4目町民会館費、108万7千円を要求したところでありますが、そのうち修繕料9万3千円の要求に対し、予算が認め得られませんでした。これにつきましても、先ほど説明しました保健体育費同様、需用費の節内で対応することとしたところであります。

以上、ご説明いたしました。1ページに記載しました教育費補正額3千587万8千円につきましては、先に開催されました第4回定例会で議決されたものでございます。

以上報告し、説明といたします。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。質疑はございませんか。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第1号については、報告のとおりといたします。

次に日程第6、報告第2号平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について説明を求めます。

学校教育課長(川瀬 康彦) 報告第2号平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご説明申し上げます。

議案書は2ページであります。

ここで、報告第2号別紙にあります概要と実施要領をご覧いただきたいと存じます。説明に入ります前に、大変申し訳ございませんが、当該資料に誤謬表記が1か所ございましたので、修正をお願いいたします。1枚目3番の調査結果についての内容でございますが、右側の一番下でございます運動習慣の概要の下の方に「体育授業について感じていること」という表がございます。その中で、左側に「授業が楽しい」等の項目がございます。その4行目に「学んだことを授業以外でも行ってみたい」という表記がございます。この表記は正しくございません。「学んだことを授業以外でも行ってみたい」という表記になりますので、ご修正いただきますようお願いいたします。申し訳ございませんでした。

それでは、当該資料の2枚目をご覧いただきたいと思っております。平成27年度調査に係ります実施要領の抜粋についてご説明申し上げます。

はじめに、1の調査の目的でございます。1つ目に、国ではありますが、全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析し、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の

成果と課題を検証し、改善を図ることとしてございます。2つ目に、各教育委員会や各学校であります。全国的な状況等の関係において、当該施策の成果と課題を把握いたしまして、その改善を図り、そのような取り組みを通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立するというところでございます。3つ目に、各学校でございますが、各児童生徒の体力・運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握しまして、学校における体力・健康に関する指導の改善等に役立てるといった目的となっております。

次に、2の調査の名称でございますが、これは調査と同じでございます。

次に、3の調査の対象でございますが、公立私立学校の小学校の第5学年と中学校の第2学年の全児童・生徒でございます。ただし、特別支援学級に在籍している児童・生徒につきましては、障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断するという事になっております。

次に、4の調査事項でございますが、実技に関する調査は小学校調査が握力、上体起こし、長座体前屈、50m走等8種目、中学校調査もハンドボール投げ等8種目を実施することとなっております。また、質問紙調査は、運動習慣等について問うものとなっております。なお、この抜粋に記載しておりませんが、実技調査実施期間を4月から7月末まで、児童生徒の質問紙実施期間は、調査票到着から7月末までの期間に実施することとなっております。

次に、1枚目の概要にお戻りいただきたいと思っております。幕別町内の小学5年生、中学2年生の調査結果についてでございます。囲み線の参加校及び参加人数についてでございますが、小学校は、明倫小学校に対象児童がおりませんでしたことから、8校の実施となっております。また、中学校は全校が実施したところであります。参加人数は、小学校が230人、中学校が275人ございました。

次に、囲み線の体力・運動能力の概要についてでございます。1の体格につきましては、小学5年生は男女ともに全国平均を上回っておりますが、女子の体重を除き、全道平均より下回っているところでもあります。なお、男女ともに肥満傾向が全国出現率を上回っているところでもあります。一方、中学2年生でございますが、男子が身長、体重ともに全国平均を上回り、女子は全国、全道平均を上回っております。また、肥満傾向は、男子は全国、全道出現率を下回っておりますが、女子は全国を上回っている状況でございます。

次に、体力についてでございます。幕別町における子供たちの体力・運動能力につきましては、小学生では体力合計点が全国全道を下回っておりますが、筋力を試す握力、巧緻性が必要なソフトボール投げ、走力を試す50m走につきましては、男女ともに高い能力が見受けられる結果となっております。一方、中学生は全体の傾向としては、男女ともに全道平均を上回っておりますが、全国平均に対しては下回っているところでもあります。しかし、男子では走力を試す50m走、跳躍力が必要な立ち幅跳び、また、女子は筋力を試す握力、50m走、立ち幅跳びで高い能力が見受けられる結果となっております。

次に、囲み線の運動習慣の概要についてでございますが、スポーツクラブ、少年団、部活動等に入っていると回答した児童・生徒の割合は、半数以上となっております。特に、小学5年生と中学2年生の男子は、非常に高い加入率となっているものであります。

「運動が得意」、「運動は大切だと思う」と答えた児童・生徒は、おおむね全国全道平均を上回る結果となっておりますが、まだまだ伸び代があると察するところでもあります。よって、体育授業への興味は高いという調査結果を踏まえながら、日常的に運動することへの取り組み等が必要であると考えているところでもあります。

なお、本町では昨年度から、全国調査の対象となる小学5年生及び中学2年生以外の学年においても体力テストを行っているところでもあります。さらに、各学校では子供たちの調査結果を毎年記録し、経年変化の状況が分かるようにしており、また、各々の子供に係ります数値目標を設定しながら、体力向上の充実を目指しているところでもあります。

報告は、以上でございます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第2号につきましては報告のとおりといたします。

次に日程第7、報告第3号平成28年度全国学力・学習状況調査への参加について説明を求めます。

学校教育課長(川瀬 康彦) 報告第3号平成28年度全国学力・学習状況調査への参加についてご説明申し上げます。

議案書は3ページでございます。平成19年度から実施いたしております全国学力・学習状況調査につきましては、平成22年度から全国の3割の学校を抽出して行うサンプル調査に改められましたが、平成25年度からは、全国学力・学習状況調査の悉皆、すなわち、全数調査で行われるものとなって実施されており、平成28年度につきましても、同様に実施されることになっております。参加対象とする児童生徒につきましては、これまで同様、小学校第6学年と中学校第3学年でございます。調査事項は、評価に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問調査でございます。教科に関する調査は、国語、小学校は算数、中学校は数学であります。調査実施日は平成28年4月19日(火)でございます。

報告は以上でございます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第3号につきましては報告のとおりといたします。

次に日程第8、報告第4号幕別町中学生海外研修派遣事業研修生の決定について及び日程第9、報告第5号幕別町高校生海外研修派遣事業研修生の決定については関連がありますので、一括して説明を求めます。

生涯学習課長(湯佐 茂雄) それでは、報告第4号、幕別町中学生海外研修派遣事業研修生の決定について、並びに報告第5号、幕別町高校生海外研修派遣事業研修生の決定について一括して説明させていただきます。

議案書は4ページから6ページまでとなります。本海外研修派遣事業は、将来、国際的社会に貢献できる人材を育てることを目的に、町内に居住し、町内の学校に在学する中学2年生及び高校1年生を対象に実施しているところでもあります。

本年度の参加定員は、海外研修派遣事業要綱の規定に基づき、中学生が16人、高校生が幕別高校と江陵高校から各1人の2人となり、中学校の学校枠につきましては、幕別中学校1人、糠内中学校1人、札内中学校7人、札内東中学校6人、忠類中学校1人となります。各学校を通じまして、募集を行いましたところ、幕別中学校が1人に対して2人、糠内中学校が1人に対して2人、札内中学校が7人に対して10人、札内東中学校が6人に対して10人、忠類中学校が1人に対して2人で、中学校は全校において学校枠以上の応募があり、参加定員16人に対して26人の応募となりました。高校は、幕別高校が1人に対して1人、江陵高校は1人に対して応募者なしという結果となりました。

研修生の選考にあたりましては、教育委員会職員によりまず面接を行い、協調性、積極性、英語力などについて審査を行い、議案書4ページにありますとおり、中学生16人、高校生1人の計17人を研修生として決定したところでもあります。

本研修の日程につきましては、お手元の報告第4、5号説明資料の日程表をご覧くださいと思います。全部で9日間の行程で、3月29日に本町を出発いたしまして、帯広空港から羽田空港、そして羽田空港からオーストラリアのシドニー国際空港に翌30日に到着し、帰国は4月5日にシドニー国際空港を出発し、翌4月6日に帰町する予定となっております。

オーストラリアでは、首都でありますキャンベラ市のメルローズハイスクールにおける学校体験研修のほか、視察研修、ホームステイ研修などを予定しており、引率者につきましては、国際交流員のレイン・クリントン氏、札内東中学校の山本英司教諭、生涯学習課社会体育係の足利優係長の3名を予定しているところであります。

なお、本研修に際しまして、2月2日から3月22日までの間で、合計13回の事前研修会を予定しているところであります。

以上、説明いたしまして、報告とさせていただきます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

瀧本委員 参加人数に満たない場合の欠員については、例えば高校生の場合、江陵高校にいれば幕別高校でその分を補うなど、人員の配置を柔軟にされると記憶しておりましたが、今回の場合はどうなるのでしょうか。

生涯学習課長（湯佐 茂雄） この要綱につきましては、昨年12月の教育委員会会議でしたが、要綱の改正ということで議題を上げさせていただきました。学校枠が欠員だった場合、合計人数が減っておりますが、昨年改正させていただきました。中学校の学校枠で欠員だった分は、他の学校に回し、必ずこの16人は行っていただくということ、高校も、どちらの学校からも出てこなかった場合は、他校に回すということで要綱を改正させていただきましたが、先ほど説明しましたとおり、全ての学校が学校枠での欠員がなかったため、他の学校に回すということにはなりません。

高校につきましては、江陵高校は残念ながら出てきませんでした。幕別高校が1人でしたので、幕別高校が2人ということになれば、江陵高校の分の1人を幕別高校に渡して2人ということになりましたが、江陵高校が1人しかいなかったため、このような結果になったものであります。

瀧本委員 幕別高校の方に、江陵高校がいなかったということで、追加の要望や希望を取った経過はあるのですか。

生涯学習課長（湯佐 茂雄） 幕別高校から推薦いただいたときに、もう1人出していただいても良いという話はさせていただいたのですが、その後は出てこなかったということになります。

田村教育長 他に質疑はございませんか。

（ありません。）

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第4号及び報告第5号につきましては報告のとおりといたします。

田村教育長 その他といたしまして、事務局の方から何かございませんか。

生涯学習課長（湯佐 茂雄） その他といたしまして、お手元にお配りしておりますチラシの「みんなの学校」という大きなタイトルが載っているものがありますが、幕別町文化講演会、映画「みんなの学校」上映会につきまして、説明をさせていただきたいと思っております。

本上映会につきましては、教育委員会とNPO法人まくべつ町民芸術劇場の主催により、2月28日（日）午後2時から百年記念ホール大ホールにおきまして、文化講演会として開催するものであります。

本映画は、不登校ゼロを目指す大阪市立大空小学校の取り組みを紹介し、第68回文化庁芸術祭大賞など数々の賞を受賞したドキュメンタリー作品であります。発達障害を抱

えた子、自分の気持ちをうまくコントロールできない子など、いわゆる特別支援の対象となる児童も同じ教室で学び、教職員、保護者、地域の大人たちだけでなく、子ども同士も一緒になり「みんながつくる、みんなの学校」のスローガンに取り組む姿を長期にわたって取材したもので、さりげなく撮られた日常が記録された貴重なドキュメンタリーであります。ごく普通の公立小学校が実践する濃密な教育の姿が映し出されているとのことでもあります。

本上映会は、入場無料で、入場整理券が必要となりますが、2月号の広報により周知するとともに、各小中学校の児童、生徒全員にこのチラシを配布する予定であります。教育委員の皆様におかれましても、ぜひご覧いただければと思っているところであります。

以上で説明を終わらせていただきます。

田村教育長 ただ今、その他の説明、「みんなの学校」の映画上映に関しまして、何か質疑はございませんか。

(ありません。)

田村教育長 それでは、以上をもちまして、本日の日程の全てが終了いたしましたので、第1回教育委員会会議を閉じます。